

資 料 編

1 「第2次長井市食育推進計画」の取り組み事例

本市ではこれまで食育及び地産地消に関わる様々な「食」に関する活動に取り組んできました。2次計画で掲げた各目標に関わる取り組み事例は以下のとおりです。

事業名 (取組主体)	事業内容	目標				実績		
		1	2	3	4	H30	R2	R4
乳幼児健診時 栄養指導 (健康スポーツ課)	年齢に応じた食事内容や摂取量、望ましい食習慣のポイント、栄養バランス、共食の大切さについて個別指導。また3歳児健診でランチョンマットを配布し栄養バランスの大切さを説明。		○	○		40件	43件	50件
離乳食教室 (健康スポーツ課)	月齢ごとの離乳食の進め方について説明。様々な食物の味を体験することの重要性、栄養バランス、薄味の大切さについて集団指導。相談が必要な母子には個別指導。		○	○		3回	5回	7回
パパママ教室 (健康スポーツ課)	妊娠期の食生活のポイント、栄養バランス、食事の適量について食事バランスガイドを使用して具体的に伝える。家族の健康を含めた家庭での望ましい食習慣の基本を啓発。		○	○		6回	5回	6回
おやこ 食育教室 (健康スポーツ課)	親子のコミュニケーションの充実のために簡単にできて栄養バランスのよい食事を一緒に作る調理体験の機会の提供。	○	○		○	1回	0回	0回
特定健診事後 指導 (健康スポーツ課)	健診受診者のうち、生活習慣病発症のリスクが高い方を対象に自分自身の健康管理の意識づけや行動変容を促し生活習慣病発症の減少を目指した適性な食生活の指導。		○			121件	125件	
男性のための 料理教室 (健康スポーツ課)	男性でも簡単にできて栄養バランスのよい食事を作る調理体験の機会の提供。		○			1回	0回	0回
栄養に関する 出前健康教室 (健康スポーツ課)	各ライフステージに合わせて、望ましい食習慣のポイントや適塩、野菜摂取の重要性についての講演会の実施。		○			1回	2回	9回
栄養講座 (食改養成講座) (健康スポーツ課)	食育に関心の高い地域住民を公募し、食に関する基本的な講座を行い、食の大切さを伝えるボランティアを育成。		○	○		7回	0回	5回
食改アドバンス (食改育成) (健康スポーツ課)	食の大切さを伝えるボランティア集団である食改員へスキルアップを図った実践的な研修の開催。		○	○		6回	2回	6回
ミニデイサー ビス昼食提供 (健康スポーツ課)	食改員がミニデイサービスへ昼食を提供するときに低栄養予防や適塩についての普及啓発。		○			12回	0回	3回
伝達講習会 (健康スポーツ課)	食改員が住民向けの調理実習をするときに食事の適量や適塩、野菜摂取についての普及啓発。		○	○	○	14回	0回	14回

事業名 (取組主体)	事業内容	目標				実績		
		1	2	3	4	H30	R2	R4
糖尿病重症化 予防訪問指導 (健康スポーツ課)	健診結果から５年以内に透析導入に至る可能性がある人を対象に、置賜保健所と置賜総合病院と連携して糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に努め、人工透析移行の減少を目指す。		○			0 件	3 件	0 件
糖尿病予防 教室 (健康スポーツ課)	特定健診の結果から糖代謝の保健指導判定値に該当する人を対象に、医師、市保健師、市管理栄養士が糖尿病予防について講話を行い、糖尿病発症の減少を目指す。		○			0 回	4 回	3 回
低栄養予防 訪問指導 (健康スポーツ課)	健診結果と一昨年度の健診結果を比べ５％以上体重減少した人を対象に、適性な食生活の指導を行い、自分自身の健康管理の意識づけや行動変容を促し低栄養の予防を目指す。		○			0 件	3 件	3 件
食や栄養に関 する情報提供 (健康スポーツ課)	子育て応援ラジオで妊婦と幼児期の健全な食生活についての情報発信。	○	○			2 回	4 回	10 回
食の自立支援 事業(配食サー ビス) (福祉あんしん課)	市内３か所の事業所と委託契約を締結し、調理が困難な１人暮らしや高齢者世帯を対象に、週１～２回の配食サービス。		○	○		3,286 食	3,664 食	3,906 食
栄養バランス 教室 (福祉あんしん課)	管理栄養士による指導や高齢者の低栄養を予防するための栄養指導や調理実習の実施。 (R2～R4は食事せず、弁当で持ち帰り)		○			2 コース (6 回)	1 コース (3 回)	1 コース (3 回)
管理栄養士の 訪問指導 (福祉あんしん課)	高齢者の低栄養予防のため、自宅に訪問し、栄養指導や調理指導などを実施。		○			延 73 件	延 10 件	延 3 件
地産地消の日 (給食共同調理場)	学校給食地産地消の日は、毎月１回食への意欲をもち、地元産の農産物への理解を深めることを目的として実施している。また、学校給食における長井市産食材の利用拡大に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	○	12 回	10 回	12 回
地産地消の 取組 (給食共同調理場)	地産地消という観点で、青果物は生産者（菜なポート）から情報提供を受け、直接発注し地産地消に取り組んでいる。			○		通年	通年	通年
まるごと長井 給食 (給食共同調理場)	可能な限り長井産食材で学校給食を提供し、地産地消の推進に取り組んでいる。	○	○	○	○	1 回	1 回	1 回

事業名 (取組主体)	事業内容	目標				実績		
		1	2	3	4	H30	R2	R4
バイキング給食 (給食共同調理場)	バイキング給食は①食への意欲を持つ、②自己管理能力を身につける、③栄養のバランスを学ぶ、④食事のマナーを身につける、⑤地元産の農産物への理解を深める、以上を目的として小学校6年生・中学校3年生を対象に実施。地産地消に対する理解を深めるため地元農産物を学校給食に提供している生産者を招き、児童生徒との交流を図りながら、食育の推進を実施。また、学校給食における長井市産食材の利用拡大に積極的に取り組んでいる。令和2～4年度はコロナのため未実施。	○	○	○	○	1回	0回	0回
レインボー認証米供給経費負担事業 (給食共同調理場)	はえぬき2等米が標準である学校給食の炊飯において、レインボー認証米にする経費と1等米で提供するための格差を市で負担。※長井地区農政対策協議会も、2等米から1等米への変更格差分を一部負担。市と長井地区農政対策協議会の負担により、長井市産レインボー認証はえぬき一等米を提供。			○		通年	通年	通年
調理場だよりの発行 (給食共同調理場)	毎月児童生徒へ発行。他、不定期に月4～5回、伝統行事や食育に関する情報、学校給食レシピなどを掲載する「ひとロメモ」を教室向けに発行。市のHPにも掲載し、広く情報提供している。	○	○	○	○	通年	通年	通年
食文化の継承 (給食共同調理場)	七夕給食、お月見給食など、行事や季節に合わせてながら献立を作成。	○			○	随時	随時	随時
学校給食負担金事業 (給食共同調理場)	学校給食の充実を図るため、平成29年度から10円/食を市が負担している。平成29年度から1食あたり10円を市が負担。			○		通年	通年	通年
山形県学校給食における地産地消促進事業費補助金 (給食共同調理場)	山形県の補助事業を活用した取り組み。県産農林産物の利用拡大を図り、地産地消を促進。			○		通年	通年	通年
学校給食費負担軽減支援事業 (給食共同調理場)	コロナ禍における物価高騰の状況においても、保護者負担を引き上げることなく、これまで通りの学校給食が実施されるよう、献立作成や食材の購入を継続するため不足する経費について補助。			○				通年
食育の推進 (学校教育課)	こどもたちへ調理場だよりの説明など。	○				通年	通年	通年
生活リズムの指導 (学校教育課)	チェックシートを活用した望ましい生活リズムの獲得等。		○			通年	通年	通年
食育指導等の実践 (学校教育課)	栄養教諭等の講話・指導、家庭科での調理実習。		○			通年	通年	通年

事業名 (取組主体)	事業内容	目標				実績		
		1	2	3	4	H30	R2	R4
安心な安全給食の提供 (学校教育課)	調理場と連携した食物アレルギーへの適切な対応。			○		通年	通年	通年
郷土料理の提供 (学校教育課)	鯉給食の実施（鯉の甘露煮）		○		○	通年	通年	通年
土曜らんど (地域づくり推進課)	例年は各団体と連携し、料理やお菓子作り体験を行っている。令和2年度はコロナにより活動実績なし。令和4年度は豊田地区において1月に団子下げと本格和菓子作り、3月にお菓子屋を講師とするイチゴ大福づくりを実施。	○	○	○	○	14回	なし	10回
共育セミナー「なかよくらぶ」 (中央コミセン) (地域づくり推進課)	1歳10か月以上の子と親を対象に、農業体験等を通して、食育教育・地域の食文化・食事のマナー等を身に付ける	○	○		○	40回	34回	廃止
親子チャレンジ教室「畑の楽耕」 (中央コミセン) (地域づくり推進課)	小学生を含む家族を対象に、苗植え、種まき、栽培、食育学習、販売体験を行った。	○	○		○	18回	16回	17回
「みんなで取り組む生活習慣作りやまがた子育て5ヶ条」リーフレット配布 (地域づくり推進課)	山形県教育委員会発行のリーフレットを配布。		○			1回	1回	1回
長井市伝統芸能伝承活動事業補助金 (観光文化交流課) (地域づくり推進課)	市内各地区が主体となっており、子どもたちに地域の伝統芸能、伝統文化を指導伝承する事業を対象に補助。				○	6件	0件	1件
消費生活ハンドブック (市民課)(消費生活支援センター)	消費生活に関する幅広い内容を掲載したオリジナルハンドブックを作成。食品ロスについても掲載し、出前講座で活用したり配布したりした。	○				1回	1回	-
おらんだラジオによる周知 (市民課)(消費生活支援センター)	消費生活センターの番組の中で食品ロス削減を呼びかけ。	○				20回	7回	4回
出前講座 (市民課)(消費生活支援センター)	ミニデイや市内団体の集まりに出向き、食品ロス削減についての啓発を行った。	○				0回	1回	0回

事業名 (取組主体)	事業内容	目標				実績		
		1	2	3	4	H30	R2	R4
食品について考える料理講習会・講演会 (市民課)(消費生活支援センター)	消費生活者の会と連携し、市民へ参加の呼び掛けも行って開催。廃棄の少ない献立の料理講習会や、調理の工程で発生する有害物質についての講演会を外部講師を招いて開催。	○				1回	0回	-
広報 (市民課)(消費生活支援センター)	広報を活用した食品ロス削減の呼びかけ。	○				0回	0回	1回
味噌づくり体験 (子育て推進課)	児童センターの5歳児が給食で使用する味噌を長井産大豆・米で作る事業。食への関心を促すとともに、自然の恵みや食に関わる人への感謝の心を育むことを目的に今後も年1回、継続して実施する。	○						1回
こども食堂等の情報案内 (子育て推進課)	支援が必要な世帯へ、こども食堂の情報やフードバンクの情報について、情報提供を行った。	○				通年	通年	通年
保育園等での菜園活動等 (子育て推進課)	公立施設、民間施設ともに、施設での菜園活動を通じ食育を実施している。	○				通年	通年	通年
ラジオでの食育情報の提供 (子育て推進課)	おらんだラジオでの「すくすく子育て応援ラジオ」内で、健康課栄養士による食育情報を提供。	○	○			通年	通年	通年
ながい地産地消まつり (農林課)	長井市産農産物の消費拡大運動の一環として、市と農協関係団体で構成するながい地産地消実行委員会を秋に開催。令和2～4年度はコロナの影響によりイベントは中止。	○		○		1回	中止	中止
農産物等ブランド化推進事業 (農林課)	レインボープラン認証または長井市推奨農産物認証を受けた農産物を直売所等で販売した場合、売上額の5%を生産者へ支援。			○		販売額 21,284 千円	販売額 20,899 千円	販売額 15,717 千円
レインボープランの推進 (農林課)	レインボープランは、家庭の生ごみを分別回収し、堆肥化したものを農地に還元し、その農地で生産された米や野菜を地域の家庭で消費する地域循環の仕組み。対象地区の生ごみを週2回収集し、レインボープランコンポストセンターで糞糞と畜糞を混ぜて堆肥を生産。広報や視察対応などの普及啓発活動、まちづくりへの参画などの交流活動、農作物認証の管理・拡大の活動等を実施。			○		随時	随時	随時
長井黒べこまつり (農林課)	「米沢牛チャンピオン牛の郷 長井」を広くPRし、米沢牛の消費拡大や、市内畜産農家の経営の安定を図ることを目的に実施。地産地消拡大運動の一環として、地元農産物や地酒も提供している。令和2～3年度は「おうちで黒べこ」として持ち帰り用のパックを販売。	○		○		1回	夏の陣 秋の陣 各1回	1回

事業名 (取組主体)	事業内容	目標				実績		
		1	2	3	4	H30	R2	R4
学校給食地産地消促進専門員の配置 (農林課)	給食において地産地消を促進するため、生産者と学校給食を結ぶコーディネーターとして市民直売所菜なポートに職員を配置。			○		通年	通年	通年
重点作物への支援事業 (農林課)	行者菜等の重点作物の産地化及び有機農業を推進するため、種苗代の購入や産地化に向けた普及啓発の取り組みへの助成を行っている。			○		通年	通年	通年
行者菜料理教室 (農林課)	長井市が生産量日本一を誇る行者菜の魅力をPRするため、家庭で美味しく食べられるメニューを紹介する料理教室を開催。		○	○		1回	中止	中止
あやめレポの発行 おらんだラジオでの周知 (農林課)	令和2年度：あやめレポで第2次計画について周知。 令和4年度：おらんだラジオで定期的に「食育の日」に関するテーマを発信。	○	○	○	○		1回	通年
市民農園 (農林課)	農地を持たない市民の方へ気軽に農業体験をしたり土に触れ合う機会を提供。	○				15 区画	13 区画	13 区画
親子で楽しい農ホリデー (総合政策課)	旧長井小学校第一校舎主催、レインボープラン推進協議会の共催事業において、小学生の親子を対象に大豆の播種体験から収穫体験を実施。また収穫した大豆で味噌仕込み体験を実施。	○	○	○	○			3回

2 令和4年度長井市民アンケート調査【結果報告書】抜粋

※「食」に関する項目を抜粋した資料です

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成25年度に策定した「長井市第五次総合計画」の進行状況を把握するとともに、過去の市民アンケート調査との比較を行うことで、現在抱える問題や課題を洗い出し、今後の策定の企画立案及び執行のための基礎資料とすることを目的としたものです。

(2) 調査の内容

① 調査対象：長井市在住で20歳以上の市民

② 抽出方法：無作為抽出

③ 対象者数：1,000人

④ 調査方法：配布－郵送

回収－郵送回答（無記名回答）又は「やまがたe申請」を利用したインターネットによる回答

⑤ 調査期間：令和4年7月1日（金）～7月29日（金）

(3) 回収結果

① 回収数：郵送327票・インターネット73票（計400票）

② 回収率：40.0%

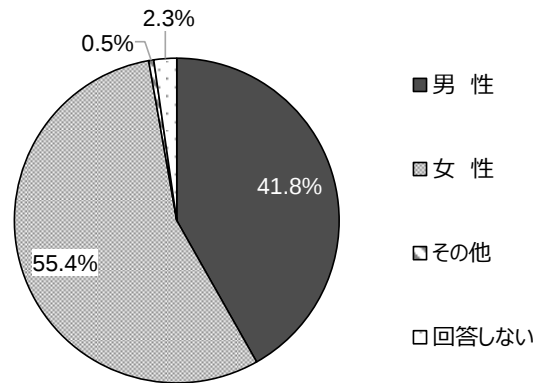
2 回答者の属性

(1) 性別

「女性」(55.4%)が「男性」(41.8%)を13.6ポイント上回っています。

図表 1. 性別

回答項目	回答者数	構成比
男 性	166	41.8%
女 性	220	55.4%
その他	2	0.5%
回答しない	9	2.3%
不 明	3	
合 計	400	100.0%



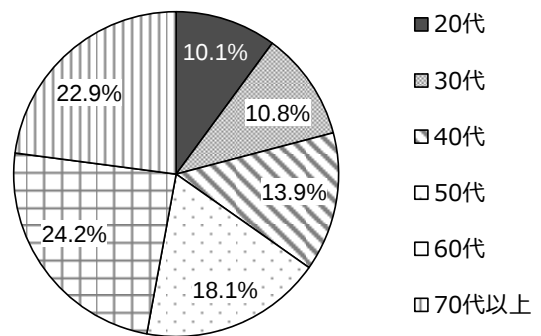
(n=397)

(2) 年齢

「60代」(24.2%)が最も高く、「70代以上」(22.9%)、「50代」(18.1%)と続きます。

図表 2. 年齢

回答項目	回答者数	構成比
20代	40	10.1%
30代	43	10.8%
40代	55	13.9%
50代	72	18.1%
60代	96	24.2%
70代以上	91	22.9%
不 明	3	
合 計	400	100.0%



(n=397)

3 調査の結果

(1) 「幸せ」について

「暮らし」「安心・安全」「地域とのつながり」「生きがい」の視点から、長井市で生活していくなかで感じる「幸せ」についてお伺いします。

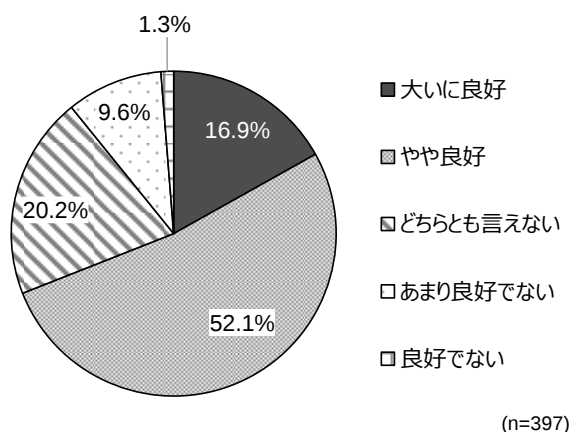
問 1. 「暮らし」の視点

(1) あなたは健康を維持できていますか

「やや良好」(52.1%) が最も高く、「大いに良好」(16.9%) を合わせると、7 割程度 (69.0%) を占めています。

図表 2-1-1. 健康状態

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	67	16.9%
やや良好	207	52.1%
どちらとも言えない	80	20.2%
あまり良好でない	38	9.6%
良好でない	5	1.3%
不 明	3	
合 計	400	100.0%

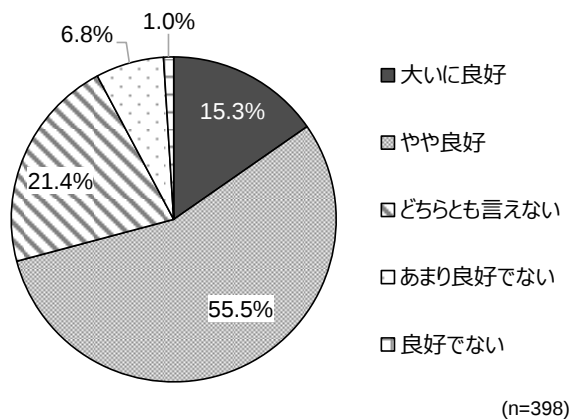


(2) バランスのとれた食生活ができていますか

「やや良好」(55.5%) が最も高く、「大いに良好」(15.3%) を合わせると 7 割程度 (70.8%) を占めています。

図表 2-1-2. 食生活の状況

回答項目	回答者数	構成比
大いに良好	61	15.3%
やや良好	221	55.5%
どちらとも言えない	85	21.4%
あまり良好でない	27	6.8%
良好でない	4	1.0%
不 明	2	
合 計	400	100.0%



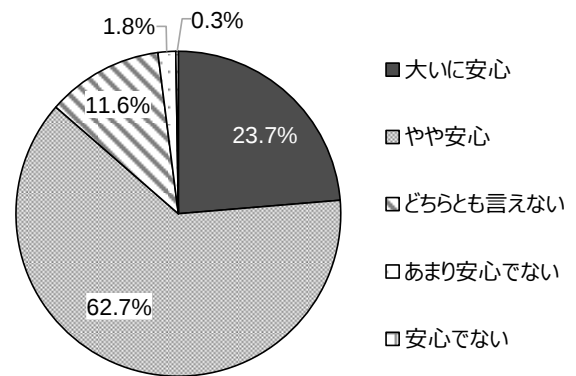
問 2. 「安心・安全」の視点

(3) 食の安全についてどう思いますか

「やや安心」(62.7%) が最も高く、「大いに安心」(23.7%) を合わせると 9 割程度 (86.4%) を占めています。

図表 2-2-3. 食の安全

回答項目	回答者数	構成比
大いに安心	94	23.7%
やや安心	249	62.7%
どちらとも言えない	46	11.6%
あまり安心でない	7	1.8%
安心でない	1	0.3%
不 明	3	
合 計	400	100.0%



(n=397)

(2) 市の施策（取り組み）に対する満足度・重要度

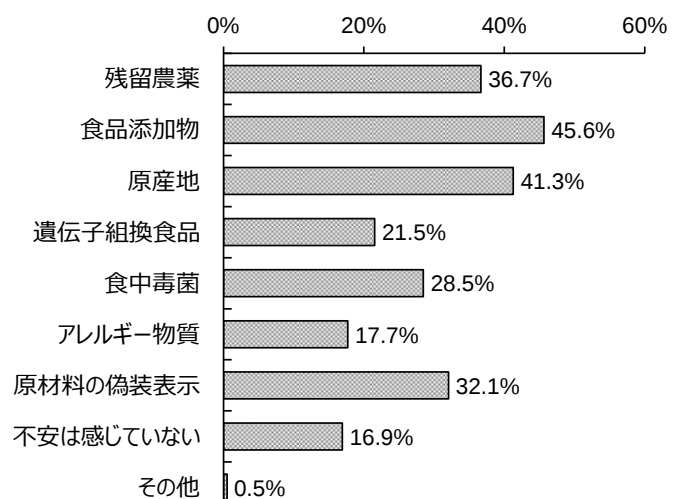
農産物振興、国産国消・地産地消、地域農業について

問 1. 現在の「食の安心・安全」について不安を感じることは何ですか。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「食品添加物」(45.6%) が最も高く、「原産地」(41.3%)、「残留農薬」(36.7%) と続きます。

図表 6-1-1. 「食の安全・安心」について不安を感じること

回答項目	回答者数	構成比
残留農薬	143	36.7%
食品添加物	178	45.6%
原産地	161	41.3%
遺伝子組換え食品	84	21.5%
食中毒菌	111	28.5%
アレルギー物質	69	17.7%
原材料の偽装表示	125	32.1%
不安は感じていない	66	16.9%
その他	2	0.5%
不 明	10	
合 計	400	



(n=390)

【年齢別】

年齢別にみると、50代以上の年齢層で「食品添加物」や「原産地」が高く、5割前後となっています。また、「食の安心・安全」への不安は、若年層よりも高齢層で高い傾向があり、なかでも「残留農薬」や「原材料の偽装表示」は60代以上の高齢層で高くなっています。一方、20代から40代の年齢層では「不安は感じていない」が他の年代に比べて高くなっています。

図表 6-1-2. 「食の安全・安心」について不安を感じる事（年齢別）

	残留農薬	食品添加物	原産地	遺伝子組換え食品	食中毒菌	アレルギー物質	原材料の偽装表示	不安は感じていない	その他
20代 [n=40]	15.0%	40.0%	17.5%	12.5%	22.5%	10.0%	12.5%	37.5%	0.0%
30代 [n=41]	26.8%	31.7%	29.3%	9.8%	26.8%	14.6%	22.0%	26.8%	0.0%
40代 [n=55]	25.5%	32.7%	27.3%	12.7%	27.3%	23.6%	23.6%	30.9%	1.8%
50代 [n=71]	32.4%	52.1%	47.9%	25.4%	29.6%	18.3%	29.6%	12.7%	1.4%
60代 [n=94]	46.8%	50.0%	50.0%	29.8%	30.9%	18.1%	40.4%	7.4%	0.0%
70代以上 [n=87]	49.4%	51.7%	50.6%	23.0%	29.9%	18.4%	44.8%	8.0%	0.0%

【性別】

性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性を上回っており、なかでも「食品添加物」（男性：36.2% 女性：51.9%）と「原産地」（男性：33.7% 女性 46.7%）は女性が男性よりも10ポイント以上高くなっています。

図表 6-1-3. 「食の安全・安心」について不安を感じる事（性別）

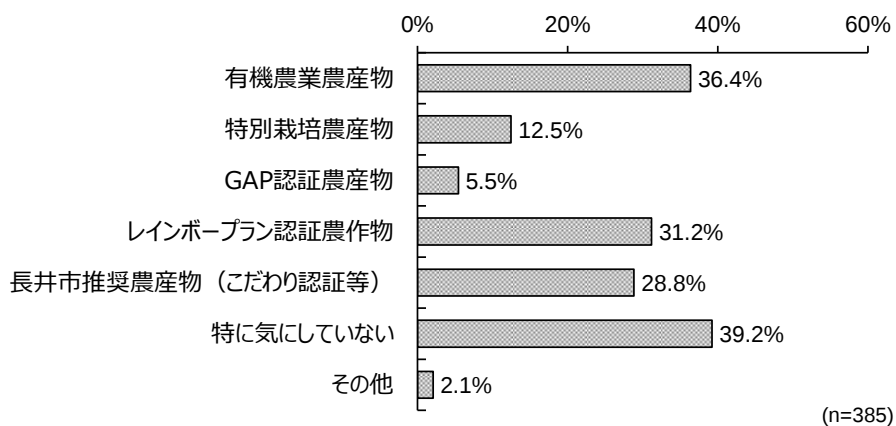
	残留農薬	食品添加物	原産地	遺伝子組換え食品	食中毒菌	アレルギー物質	原材料の偽装表示	不安は感じていない	その他
男性 [n=163]	34.4%	36.2%	33.7%	20.2%	23.9%	16.6%	33.1%	19.0%	0.0%
女性 [n=214]	39.3%	51.9%	46.7%	21.5%	32.7%	19.6%	31.3%	13.6%	0.9%
その他 [n=2]	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
回答しない [n=9]	22.2%	55.6%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	55.6%	0.0%

問2.「食の安心・安全」について興味がある、または今後購入したいと考えているものは何ですか。
(複数回答：いくつでも)

回答者全体では「特に気にしていない」(39.2%)が最も高く、以下、「有機農業農産物」(36.4%)、「レインボープラン認証農産物」(31.2%)と続きます。一方、「GAP 認証農産物」は5.5%と最も低く、「特別栽培農産物」(12.5%)が続きます。

図表 6-2-1. 「食の安心・安全」について興味のあるもの

回答項目	回答者数	構成比
有機農業農産物	140	36.4%
特別栽培農産物	48	12.5%
GAP認証農産物	21	5.5%
レインボープラン認証農作物	120	31.2%
長井市推奨農産物（こだわり認証等）	111	28.8%
特に気にしていない	151	39.2%
その他	8	2.1%
不 明	15	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、40代で「レインボープラン認証農産物」が、50代以上の年齢層で「有機農業農産物」がそれぞれ高くなっています。一方、「特別栽培農産物」と「GAP 認証農産物」はあらゆる年代で低くなっています。また、20代から40代の年齢層では、5割前後の人が「特に気にしていない」と回答しています。

図表 6-2-2. 「食の安心・安全」について興味のあるもの（年齢別）

	有機農業農産物	特別栽培農産物	GAP 認証農産物	レインボープラン認証農産物	（長井市推奨認証農産物等）	特に気にしていない	その他
20代 [n=40]	27.5%	10.0%	0.0%	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%
30代 [n=41]	29.3%	2.4%	0.0%	22.0%	22.0%	43.9%	2.4%
40代 [n=55]	21.8%	10.9%	5.5%	21.8%	30.9%	54.5%	5.5%
50代 [n=71]	39.4%	12.7%	11.3%	42.3%	26.8%	33.8%	2.8%
60代 [n=93]	39.8%	15.1%	5.4%	31.2%	30.1%	36.6%	0.0%
70代以上 [n=83]	48.2%	16.9%	6.0%	32.5%	36.1%	28.9%	2.4%

【性別】

性別にみると、「レインボープラン認証農産物」で女性が40.3%と高く、男性（19.3%）を21ポイント上回っています。また、男性では「特に気にしていない」（44.1%）が最も高く、「食の安心・安全」への関心は女性が男性よりも高いことがわかります。

図表 6-2-3. 「食の安心・安全」について興味のあるもの（性別）

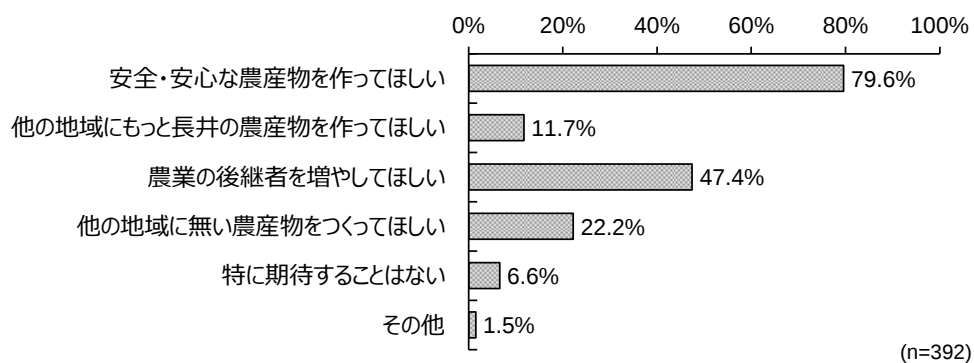
	有機農業農産物	特別栽培農産物	GAP 認証農産物	レインボープラン認証農産物	（長井市推奨認証農産物等）	特に気にしていない	その他
男性 [n=161]	31.1%	15.5%	5.6%	19.3%	29.2%	44.1%	0.6%
女性 [n=211]	41.2%	10.9%	5.2%	40.3%	29.4%	34.6%	3.3%
その他 [n=2]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
回答しない [n=9]	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%

問3. 今後地元の農業に期待することは何か。（複数回答：いくつでも）

回答者全体では「安心・安全な農産物を作ってほしい」が79.6%と最も高く、「農業の後継者を増やしてほしい」（47.4%）、「他の地域に無い農産物をつくってほしい」（22.2%）と続きます。一方、「他の地域にもっと長井の農産物を作ってほしい」は11.7%と最も低く、次いで「他の地域に無い農産物を作ってほしい」は22.2%でした。

図表 6-3-1. 今後地元の農業に期待すること

回答項目	回答者数	構成比
安全・安心な農産物を作ってほしい	312	79.6%
他の地域にもっと長井の農産物を作ってほしい	46	11.7%
農業の後継者を増やしてほしい	186	47.4%
他の地域に無い農産物をつくってほしい	87	22.2%
特に期待することはない	26	6.6%
その他	6	1.5%
不 明	8	
合 計	400	



【年齢別】

年齢別にみると、あらゆる年代に渡って「安全・安心な農産物を作ってほしい」が最も高くなっており、50代以上では8割に達しています。また、60代で「農業の後継者を増やしてほしい」が57.0%と、他の年代に比べて高くなっています。

図表 6-3-2. 今後地元の農業に期待すること（年齢別）

	安全・安心な農産物を作 ってほしい	他の地域にもっと 長い井の	農業の後継者を 増やして	他の地域に ない農産物を	特に期待 することはない	その他
20代 [n=40]	80.0%	17.5%	45.0%	15.0%	7.5%	2.5%
30代 [n=42]	69.0%	9.5%	42.9%	14.3%	14.3%	4.8%
40代 [n=55]	69.1%	10.9%	43.6%	27.3%	3.6%	1.8%
50代 [n=72]	81.9%	11.1%	43.1%	19.4%	5.6%	1.4%
60代 [n=93]	83.9%	7.5%	57.0%	28.0%	5.4%	0.0%
70代以上 [n=88]	84.1%	15.9%	46.6%	22.7%	6.8%	1.1%

問４．食材を購入するとき重視することは何ですか。あなたのご意見や考えをお聞かせください。

食材を購入するとき重視することについてたずねたところ、53 件の意見が寄せられました。なかでも多くみられたのは「値段」や「品質」を重視するという意見でした。

具体的な意見は、次のとおりです。

(性別・年齢・職業)

- 新鮮であること、リーズナブルである事、安全である事。(女性・60代・パート・アルバイト)
- 値段(男性・70代以上・無職)
- なるべく国産品を買うようにしている。(男性・60代・公務員)
- 残留農薬(男性・70代以上・無職)
- 安心安全を重視します。(女性・70代以上・無職)
- 安い。国産である。品質がよい。(男性・60代・会社員・団体職員)
- 国内で生産された物、作られた物(男性・60代・無職)
- 値段、鮮度(女性・30代・会社員・団体職員)
- 価格(男性・50代・会社員・団体職員)
- 長井市の物がおいしいと考えた時、それを大切に続けていってほしいと思います。(男性・40代・無職)
- 安心安全な食材であるか。(女性・70代以上・無職)
- 物価高なので、とにかく値段を気にする。(女性・30代・会社員・団体職員)
- 新鮮さと値段(女性・50代・会社員・団体職員)
- 有害物質が入ってないかどうか。(男性・70代以上・無職)
- 値段、産地(女性・20代・会社員・団体職員)
- 地物の新鮮な物を利用している。金額が安い物を購入するようにしています。(女性・60代・専業主婦・主夫)
- 食品の新鮮さ、価格、品質、産地(女性・60代・パート・アルバイト)
- 無農薬野菜が買えると嬉しい。(女性・30代・無職)
- 国産のものであるかどうかを重要視している。(女性・30代・公務員)
- 産地と値段(女性・60代・無職)
- 産地、鮮度(女性・70代以上・専業主婦・主夫)
- 安心して安全な食材かも重要だが、やはり一番は値段が安い物を重視している。(女性・20代・パート・アルバイト)
- 賞味期限、原産地(女性・50代・会社員・団体職員)
- 値段と鮮度と産地(女性・60代・会社員・団体職員)
- 値段と品質(安くて新鮮な物を)(女性・70代以上・無職)
- 残留農薬(男性・70代以上・無職)
- 価格、好物(男性・50代・無職)
- 産地、遺伝子組み換え(男性・50代・会社員・団体職員)

- 減農薬であるか、鮮度（女性・70代以上・無職）
- 鮮度と値段（女性・60代・専業主婦・主夫）
- 地場産のものか、有機栽培か、どんな添加物が使用されているかを重視している。（女性・70代以上・専業主婦・主夫）
- 安全な食が豊かであることが、長井市の最大の良さだと思っています。安いことよりも安全を重視して農業従事者を守り、消費者を守ってほしいと思います。（女性・50代・パート・アルバイト）
- 産地が海外の原材料で作られている食材は注視している。（女性・60代・無職）
- 出来る限り国産の肉や野菜を購入。（女性・60代・パート・アルバイト）
- 地元で作られていること。農薬が使われていないもの。（女性・40代・自営業）
- 鮮度管理がきちんとされているか。（回答しない・30代・会社員・団体職員）
- 値段と新鮮度合い（女性・40代・公務員）
- 原産地（女性・20代・会社員・団体職員）
- 鮮度（女性・40代・会社員・団体職員）
- 産地、旬、値段（男性・30代・会社員・団体職員）
- 価格（女性・20代・会社員・団体職員）
- 安くて新鮮（男性・60代・公務員）
- 安さと安全（女性・20代・会社員・団体職員）
- 産地と価格（男性・60代・パート・アルバイト）
- 鮮度、値段（回答しない・20代・会社員・団体職員）
- 鮮度（女性・50代・会社員・団体職員）
- 地元の食材を購入する様にしている。（女性・50代・公務員）
- 価格帯、産地、鮮度（女性・30代・公務員）

問 5. 普段の食事で地場産物を利用している、または地場産物を利用していない理由について、あなたのご意見や考えをお聞かせください。

普段の食事で地場産物を利用している、または地場産物を利用していない理由についてたずねたところ、39 件の意見が寄せられました。

具体的な意見は、次のとおりです。

(性別・年齢・職業)

- 地場産の消費拡大のため利用している。(女性・60代・パート・アルバイト)
- 地元産で新鮮でおいしそうなものを買う。価格も他県産より安いならばなおさら買う。(女性・40代・不明)
- 地場産物はおいしいのでいつも食べたいけど、割高なので普段使いはむずかしいから、特別な時に食べている。(女性・50代・会社員・団体職員)
- 新鮮で質がよく毎日でも利用したいと思う。また市民の皆さんも目が肥えていて、いいものは口コミで広がっていると思う。若い人たちが魅力を感じて農業の仕事に就きたいと思ってもらえるようになればいい。(女性・60代・会社員・団体職員)
- 安全でおいしければ産地は気にしない。危険性があるものや、まずいものなら買わない。(男性・30代・会社員・団体職員)
- 家で無農薬野菜をつくっている。(女性・70代以上・無職)
- 食材購入時は「菜なポート」などを利用し地元産購入を心がけています。顔の見える生産者・地産地消の循環型サイクルや安心安全による持続可能な地元農業への協力を意識しています。近隣地区でもそのような取り組みは行われ、関心があると足を運びますので、情報発信や他地区との違いや本地区の強みをアピールし、他地区からのリピーターが増えるとういと思っています。(女性・50代・会社員・団体職員)
- 地場産物を利用するようにしている。(女性・60代・無職)
- よく「菜なポート」に行きます。旬の物を、新鮮な物をと足を運ぶのですが、どこか県外産の物も多く並んでいてがっかりすることがあります。売場を埋めることも大変でしょうが、無理に並べなくても、と思っています。(女性・50代・会社員・団体職員)
- 地場産物は高額である。(女性・70代以上・無職)
- 進んで地域生産の作物を使用して欲しい。その為にメニューや料理方法を載せる、店舗でも「この方の野菜を使いこの料理を提供しています」など、みんなで協力をするとういのではないかな。水がおいしいというのはとても幸せなことだと思う。その水で育つ全てが美味しくなる。(女性・40代・パート・アルバイト)
- おいしそうなのがあり生産者の名前が分かる「菜なポート」。(女性・20代・会社員・団体職員)
- 値段が高い。(男性・70代以上・無職)
- 日本の農業や産業を守っていききたいのでできるかぎり国産、地元の物を購入したいと考えている。「菜なポート」や道の駅は積極的に活用したい。(女性・30代・公務員)
- 幼少時代からの地場産物に、安心感があり、慣れ親しんでいる。(男性・70代以上・自営業)
- 地場産物は安心、安全な気がして利用しているが、季節にもよると思うが、色々な種類の食材を増やしてほしい。(女性・60代・パート・アルバイト)
- 誰が作ってるか分かるので安心して食べられる。(女性・70代以上・専業主婦・主夫)

- 大いに利用している。安心、新鮮、地場産利用で市を活性化したい。(女性・70代以上・専業主婦・主夫)
- 地場産物の利用は「生産者の顔が見えて安心である」、「地場農業発展のため」にしている。(女性・70代以上・専業主婦・主夫)
- 「菜なポート」をよく利用している、不ぞろいや訳あり品大歓迎。「菜なポート」には無い物はスーパーなどで購入している。食品ロスの問題にもっと取り組んでほしい。(女性・60代・会社員・団体職員)
- 地場産物は安心して購入できる。新鮮である。(女性・40代・パート・アルバイト)
- よく「菜なポート」を利用している。新鮮な物が食べられるのがうれしい。(女性・60代・自営業)
- 地場産は新鮮であってほしいが、時には値段が安い品質がよくない為ガッカリな時がある(人により)。(女性・70代以上・無職)
- 今後も地場産物を利用したいと思います。(男性・70代以上・会社員・団体職員)
- できるだけ地元の商店を利用するように心がけている(お金を地域にまわすため)。(女性・70代以上・専業主婦・主夫)
- 地場産物だと身近な場所から新鮮な農産物を得ることができるし、安心感もあると思います。(女性・30代・パート・アルバイト)
- 「菜なポート」で取れたての野菜を購入しています。新鮮でとてもおいしいです。(女性・60代・専業主婦・主夫)
- 安心なので、地場産物を利用しています。(女性・20代・会社員・団体職員)
- 生産者が見えるから安心。(女性・40代・会社員・団体職員)
- 値段が安い、見た目が美味しそう、珍しい食材かどうか。(男性・30代・会社員・団体職員)
- 特に利用する理由がない。(男性・60代・会社員・団体職員)
- 食の安全の為。(男性・60代・パート・アルバイト)
- 新鮮で値段も高すぎず美味しいから利用している。(回答しない・20代・会社員・団体職員)
- 地元農業の活性化、頑張ってもらいたい。(男性・60代・会社員・団体職員)
- 値段が安い方を選びます。(女性・50代・公務員)

長井の伝統野菜と伝統的な食材

花作大根 (はなづくりだいこん)

江戸時代、藩主であった上杉の殿様にその味を喜ばれ、現在の市内花作町で作られていたことから「花作大根」と名付けられたといわれています。独特の歯触りと長期保存が可能なおことから重宝されてきました。

一時途絶えかけましたが、地元の人々の努力により品種の保護と生産が広がっています。



◆独特の歯触りが特長

馬のかみしめ

だだちゃ豆と並ぶ山形の枝豆の在来種。大豆になると豆の表面に馬の奥歯で噛んだような模様があることから、「馬のかみしめ」と呼ばれています。

草丈が高くなり、倒れやすいため、栽培が大変です。また、収穫時期は枝豆の消費が少ない彼岸以降になり、収穫した後も平らな豆は選別に時間がかかります。このようなことから生産者が減り、一旦途絶えたが近年復活しました。味が濃く、噛みごたえがあり、枝豆や大豆と同様に調理できます。



◆パンやお菓子の材料としても好評

ハツ房なす (やつふさなす)

250年前頃に、新潟から長井市に持ち込まれ生産が始まったといわれています。一時期栽培が減少し絶滅しかけていましたが、一部の生産者が代々守りついで来しました。

名前の由来は、果実の断面が八角形になっているように見えることのほか、一つの房にたくさんなることと考えられています。



◆皮は柔らかく、パリッとした食感

大石の凍み豆腐

伊佐沢の大石地区で、地元産大豆を使い、雪深い気候を利用して作られています。かつては大石地区の冬の主な産業として多くの世帯で作られていました。

長井の郷土料理

ひょう干し

ひょうとは野草すべりひゆのこと。夏に摘んだひょうを茹でて、天日干しにすることでビタミンDなどの栄養価が蓄えられます。正月に「ひょっとしていいことがあるように」と食べる習慣があります。



鯉料理 (こいりょうり)

鯉は、内陸の置賜地方に伝わる貴重な水産資源で、上杉鷹山が米沢城の堀で育てたのがはじまりといわれています。

置賜の鯉は豊富な湧き水のおかげで泥臭くなく、冬の厳しさによって身が引きしまった逸品として大変人気があります。甘煮はお祝いごとに欠かせません。



棒だら煮

乾燥させたタラの身を輪切りにしたもので、鮮魚が入りにくい内陸地方の貴重なタンパク源となっていました。これを一晩水につけて戻し、醤油と砂糖、みりんで煮込みます。鮮度落ちの早い魚であるタラをおいしく食べるための知恵。お盆やお祝い事がある日に食卓に上がります。



からかい煮

からかい（魚のエイの干物）は貴重なタンパク源としてお正月などのハレの日の郷土料理です。煮汁が「にこごり」となり軟骨のコリコリ感がおいしいといわれています。



あずきかぼちゃ

冬至にかぼちゃを食べると風邪をひかないという言い伝えがあります。かぼちゃには、ビタミンA、小豆には、ビタミンB1が多く含まれているので、冬の健康対策として昔から食べられてきました。

第3次長井市食育推進計画策定推進委員会設置規程

- (設置)
- 第1条 食育基本法（平成17年法律第63号）第18条に規定する市町村食育推進計画として、第3次長井市食育推進計画（以下「計画」という。）を策定し、推進するため、第3次長井市食育推進計画策定推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
- (所掌事務)
- 第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。
- (1) 計画の策定に関すること。
 - (2) 計画の推進に関すること
 - (3) その他計画に関連する事項に関すること。
- (組織)
- 第3条 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。
- (1) 住民代表
 - (2) 学識経験者
 - (3) 関係団体の代表者
 - (4) その他市長が適当と認める者
- (委員の任期)
- 第4条 委員の任期は、委嘱の日から策定した計画期間の最後の日までとする。
- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (委員長及び副委員長)
- 第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 2 委員長は委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代理する。
- (会議)
- 第6条 委員会は、委員長が必要に応じて招集する。ただし、設置後最初に開催される委員会は市長が招集する。
- 2 委員長は、必要があるときは、委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、説明や意見を聴くことができる。
- (事務局)
- 第7条 事務局は農林課内に置き、その庶務を行う。
- 2 事務局に事務局長を置き、事務局長は農林課長をもって充てる。
- 3 事務局会は、別表に定める食育に関する庁内の関係課の職員をもって組織する。
- 4 事務局会は、計画で掲げた目標の達成に向けて各課の取り組みを検証、改善しながら、計画を推進するPDCAサイクルに基づいた進行管理を行う。
- (その他)
- 第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員に諮って定める。
- 附 則
- (施行期日)
- 1 この規程は、告示の日から施行する。
- (この規程の失効)
- 2 この規程は、策定した計画期間の最後の日限り、その効力を失う。
- (第2次長井市食育推進計画策定委員会設置要綱の廃止)
- 3 第2次長井市食育推進計画策定委員会設置要綱（平成30年9月25日長井市告示260号）は廃止する。

別表

関係課		
総合政策課	健康スポーツ課	給食共同調理場
地域づくり推進課	福祉あんしん課	学校教育課
市民課	子育て推進課	農林課

第3次長井市食育推進計画策定推進委員会委員名簿

(敬称略)

	所属・役職	氏 名	備 考
1	長井市教育委員会 教育委員	小野 卓也	
2	長井商工会議所女性会 会長	鈴木 よう子	
3	山形おきたま農業協同組合 理事	横山 小市	
4	長井南中学校 母親委員長	井上 恵	
5	レインボープラン推進協議会 企画交流部会長	菅野 春平	
6	長井市食生活改善推進協議会 会長	伊藤 浩呉	
7	特別養護老人ホーム慈光園 調理課課長	安部 香織	
8	長井市保育研究会 会長	中川 純子	
9	給食共同調理場 栄養教諭	佐藤 朋江	
10	長井市父母の会連絡協議会 会長	尾形 良一	
11	地域おこし協力隊	坂本 晃一	
12	公募委員	宇都 久美子	

第3次長井市食育推進計画

令和6年3月

編集・発行 長井市農林課

〒993-8601 山形県長井市栄町1番1号

TEL 0238-82-8015

FAX 0238-87-3369

E-mail noushin@city.nagai.yamagata.jp

ホームページ <http://www.city.nagai.yamagata.jp>